

教室だより（各学年・専科より）

1年生

夏休みも終わり、一回り大きくなって真っ黒に日焼けをしてきた1年生。

夏休みの報告会では、楽しかった思い出や一生懸命がんばった自由研究、苦労したチャレンジ10を大きな声で発表しました。

プールでは、7月には水に顔をつけることができなかつた子が、けのびをするようになり、泳げる子は、長い距離が泳げるようになり、夏休みのがんばりが見えました。

まだまだ暑い日が続きますが、暑さに負けず元気に楽しく学校生活が送れるように、指導していきます。

4年生

8月25日、1学期後期も96名全員で元気にスタートすることができました。

休み中の暑い日差しに育てられ、苗から植えたゴーヤが実をつけました。授業では、「つるは左巻き？右巻き？」とか、「種ができる時は実の色が売っている野菜のように緑色ではないんだ」などと、一人一人が興味をもって観察することができました。

来週は着衣泳に取り組みます。短い時間ですが、水難事故から命を守る基礎基本を身につけてほしいと思います。

2年生

夏休みを終えて

小学校生活2度めの夏休みを終え、2年生の元気な笑顔がそろいました。教室では、楽しい夏休みの思い出を生き生きと話しました。夏休みの自由研究では、保護者の皆様も協力してくださった力がすごい、友達の作品を見て感心していました。生活チャレンジでは、普段挑戦しないような活動をするので、「やっぱり大人はすごいな」と感じた子が多くいました。夏休みのプールも頑張り「先生〇級に合格したんだよ！」と笑顔で報告をしてくれる子もたくさんいて、嬉しく思っています。工事のため、とすれば休み時間の活動量も減りがちですが、2年生は、友達と元気に

楽しく学校生活を送っています。

3年生

稲荷山図書館から300冊の色々な本を借りてきました。物語や絵本、図鑑や食べ物に関する本です。国語や総合的な学習の時間などでの調べ学習でも活用していきます。読書タイムでは、静かに集中して読む姿が見られます。学校でもさまざまな本を紹介していきます。ご家庭でも、手提げ袋などに1~2冊程度好きな本を持たせてください。

国語科の「すがたをかえる大豆」では、色々な食べ物からできる食品について調べていきます。例えば、「米からもちという食品が、どのような工夫で出来上がるのか？」などです。総合的な学習の時間を活用して、インターネットなどでも調べていきますので、お家でも一緒に調べてみてください。よろしくお願いします。総合的な学習の時間では、これから練馬大根を育てていきます。水やりや草取りをしていきます。順調に育てば、12月の下旬に収穫をし、下旬には近くの高松食品さんの指導で、たくわんづけを行う予定です。子供たちとともに、大切に育てていきます。

「やるときはやる！」ことができる3年生。これからも、この調子で生き生きと頑張れるよう、一人一人の成長を支援していきます。

5年生

移動教室に向けて

9月末に、5年生として最大の行事である武石移動教室があります。6年の移動教室が武石だったこともあり、まずは6年生から武石についてのお話を聞くことから始めました。

そして、それをもとに、武石についての各自の課題を決めて調べ学習に取り組んでいます。

5年生にとっては初めての宿泊体験になります。家族と離れて大自然の中で友達と過ごすことで、家族や友達、そして自然のよさを改めて感じることを目的としています。

活動内容としては、飯盒炊さんにキャンプファイヤー、ハイキング、肝試しにリンゴ狩り、博物館見学等を予定しています。

朝6時起床、夜9時就寝という規則正しい生活習慣を身につけたり、食事や清掃、布団の上げ下げ等も自分たちで協力してしたりするので、それらを通して、精神的自立を促し、男女の協力や思いやりの心、責任感がさらに育つことを期待しています。

6年生

夏休みも終わり、6年生の教室も賑やかになりました。今年は、6年生、5年生ともに武石移動教室なので、学んだことを伝えるために武石について調べたことや、宿舎での係の仕事についての発表会を行いました。5年生を前に、少し恥ずかしそうでしたが、一生懸命伝えることができました。

また、連合水泳記録会に向け、授業や放課後に練習し頑張っています。天気が心配ですが、6年間の水泳の授業のまとめとして、一人一人全力を出し切ることができればと思います。

“伝える何か”を大切に育てたい

音楽 大森文隆

少し前の話ですが、「なでしこジャパン」のチャレンジに、私達は強い感動を覚えました。その活躍は奇跡的と言で済ませるのではなく、感動の中身が何なのかを探るのが見ていた私達の役目でしょう。

彼女達の直向きな日頃の練習と最後まで諦めない「ただその事だけに心が向かう“ひたすらさ”」だったと私は思います。

音楽の授業で子供たちによく話します。

“どうせアウトだから”と力を抜いて走るプロ野球選手の姿と、音程はずれていても目を輝かせ口を大きく開けて歌う幼稚園児の姿とを比べ、君達はどちらですか？「一生懸命な姿や心を無くしたら、私達には一体何が残るのでしょうか」と。

上手に歌うことや上手く楽器を弾くことは学習の二の次のことなのかもしれません。

日々学習して身に付けている知識や技能も「伝えたい何か」のために高めていきたいですね。



